

2009年度

科目名	言語学概論B		
担当教員	千田 俊太郎		
配当	日文2	コード	55830
開期	後期	講時	金曜日5限
		単位数	2
授業テーマ	ことばの仕組みの研究手法: 統語論、意味論、言語の歴史を学ぶ		
目的と概要	形式と意味の結びついたところに言語はある。意味プロパーの研究は哲学の領域になるが、言語学では意味がどのような形をもって現れるかを研究する。本講義では語の組み合わせ方を対象とする統語論、言語記号の意味の側面に焦点を当てる意味論、そして言語の歴史の概説をすることで、更に進んだ言語研究の方法を学ぶ。		
成績評価法	学期末の試験(75%)+平常点(授業への積極的な参加、宿題等25%)		
テキスト	定めない		
参考書	テーマ別に必要に応じて紹介する		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
第1回 はじめに 言語学の対象 第2回 統語論: 語順 第3回 統語論: 構成素構造 第4回 統語論: 統語範疇 第6回 統語論: 他動性と態 第5回 統語論: 能格性 第7回 文法と意味: 直示、人称、時制 第8回 意味論: 意味関係 第9回 意味論: 成分分析、プロトタイプ 第10回 意味論: メタファー、アイコニシティ 第11回 言語と文字 第12回 歴史: 同源語と借用語 第13回 歴史: 音変化 第14回 歴史: 比較言語学 第15回 まとめ			